

県議会 おおい

No 143

大分県議会

令和8年8月発行

題字は、大分県立佐伯鶴城高等学校
おの あんじゅ
3年 小野 杏珠さんの作品です。



大分県



夏休みこども議会体験会



8月3日、夏休みこども議会体験会を開催しました！（詳細は9ページ）

令和8年第2回定例会

6月11日から6月26日までの16日間、開催しました。

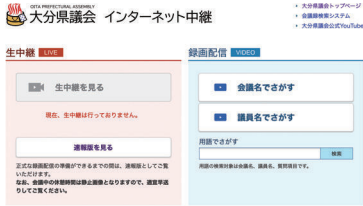
開会日には、今年4月に逝去された故井上明夫議員に対する追悼演説及び黙とうを行いました。その後、嶋議長による諸般の報告に続き、大分県宿泊税条例の制定についての議案などが提出され、佐藤知事が提案理由を説明しました。

6月17日から19日までの一般質問には12人の議員が登壇し、県政の課題に対し、執行部と活発な議論を行いました。

6月22日、23日に開催された常任委員会では、付託された議案等について審査を行いました。

今定例会では、知事提出議案等17件を可決・同意・承認、議員提出議案4件を可決し、閉会しました。

本会議の様子はインターネット中継から録画配信をご覧ください。



一般質問 6月17日(水)



県民クラブ
高橋 肇 議員

学校外における体験活動の充実について



問 ラーケーション制度の導入を含め、学校外における体験活動の充実にどのように取り組んでいくのか、教育長に伺います。

※ラーケーションとは？

「ラーニング」と「パケーション」を組み合わせた造語で、平日に子どもが保護者とともに、学校外で学習活動を行うこと

答

学校外における体験活動は、子どもたちの豊かな人間性を育む上で重要です。

香々地・九重両青少年の家では、周辺の自然環境や各施設の設備を活かした多様な体験機会を提供しており、家庭教育の支援はもとより、不登校児童生徒の社会性を高める取組などにも活用しています。ラーケーションは、別府市が「たびスタ休暇」として令和5年9月に導入し、取得者からは肯定的な評価が示されています。

一方で、学習の遅れや家庭環境による体験格差等の懸念もあり、制度の趣旨と課題について社会全体で理解を深めることが重要です。

今後は、先進事例などの情報収集に努め市町村教育委員会と共有するとともに、県内の社会教育施設等での取組を通じ、学校外における体験活動の充実を図ります。

質問はこのほか「中東情勢の影響について」など8項目



自由民主党
森 誠一 議員

東九州新幹線について



問 東九州新幹線の実現に更に近づいていけるよう、今後どのように取り組んでいくのか、知事に伺います。

答

東九州新幹線の早期実現に向けては、全国総決起大会や国への要望活動などあらゆる場面で4県1市（大分・福岡・宮崎・鹿児島各県及び北九州市）との連携を図っています。

また、6月上旬には、県単独で政府・与党への要望活動を行いました。

こうした取組の中、国が令和8年度当初予算にケーススタディ調



県単独の要望活動

査を盛り込んだことは大きな前進であり、対象路線に選ばれることが喫緊の課題です。

5月には4県1市の首長が一堂に会し、予算の確保や、ケーススタディ参画に向け連携を強化することと合意しました。

加えて、東九州地域全体の盛り上げや県民の機運醸成にも力を入れます。県内では、若者・ファミリー向けのイベント出展や、SNS等を活用した新たな情報発信を展開します。

基本計画路線の整備計画路線への格上げに向け、これからも全力で取り組みます。

質問はこのほか「高校教育改革実行計画の策定について」など7項目



志士の会
末宗 秀雄 議員

国道500号沿線における誘客促進について



問 国道500号沿線における誘客促進をどのように進めていくのか、観光局長に伺います。

答

県内の宿泊者数は堅調に伸びているものの、有名温泉地に集中する傾向にあり、各地域への周遊が課題と認識しています。そうした観点から、桂昌寺跡・地獄極楽や院内の石橋群等がある

国道500号沿線の豊かな自然・歴史文化等は、地域への周遊を促すうえで非常に魅力的な地域資源です。

その魅力を誘客につなげるため、これまで観光拠点化整備や観光看板の整備のほか、台湾旅行会社の招聘や、安心院農泊への修学旅行誘致など情報発信や誘客強化に取り組んできました。

引き続き、市町村や事業者とも連携を図り、国道500号沿線への誘客はもとより、県内各地への周遊を促す取組を展開していきます。



院内町石橋群(宇佐市)

質問はこのほか「中東情勢悪化による物資供給及び物価高騰対策について」など4項目



自由民主党
きよた じつや
清田 哲也 議員

造船業の振興について



問 県内の主要産業である造船業の振興にどのように取り組むのか、知事に伺います。

答 国は、日本成長戦略における戦略分野の一つに造船業を位置づけ、2035年までに官

民合わせて1兆円規模の投資を実現する方針を示しています。

県内でも、白杵造船所の最大50億円の設備投資や、造船会社等連名での国家戦略特区申請など、競争力強化に向けた動きが始まっています。

一方で、人材不足が深刻な課題との声を踏まえ、策定中の地域未来戦略における地域産業クラスター計画の中核分野に造船業を位置づけ、官民設備投資や人材の確保・育成などを促進します。

また、7月には、関係者が参画する連絡会議を開催し、取組の具体化を進めます。

造船業は、今後の成長が大いに期待される分野のため、官民連携のもと、競争力強化と持続的な発展に取り組めます。

質問はこのほか「県有建築物における県産材の利用促進について」など8項目



自由民主党
おた まさみ
太田 正美 議員

6月18日(木)

国立公園の活用について



問 由布岳の登山道などの受入環境整備を含め、国立公園の活用をどのように進めていくのか、生活環境部長に伺います。

答 国立公園が持つ豊かな自然を将来にわたり継承するためには、保全と活用の両輪で取り組むことが重要です。

国立公園では、国・県・市町村が分担して管理を担い、受入環境の整備を進めています。管理者不在の登山道は、ボランティアに支えられている側面もあります。

由布岳においては、今後、自然休養林保護管理協議会や由布市等と連携し、持続可能な管理や整備のあり方を議論したいと考えています。

また、活用に向けた情報発信も重要であり、この夏から、標高の高い地域などの特性を活かし「涼しいけん大分 九州の避暑地」と題して国内外でプロモーションを展開しています。

引き続き、関係機関と連携し国立公園全体の魅力を高めながら、保全と活用に取り組めます。



質問はこのほか「豊かな森林資源の継承について」など7項目



県民クラブ
なりき けんじ
成迫 健児 議員

シニア世代の働き方改革について



問 シニア世代の働き方改革にどのように取り組んでいくのか、知事に伺います。

答

県では3つの柱で、シニア施策を推進しています。

就業機会の確保では、企業訪問による支援制度の案内やセミナーの開催など、柔軟な雇用環境の整備を促進しています。

働く意欲のある方々への支援では、「大分県中高年齢者就業支援センター」にて、職業相談やキャリアコンサルティング等を一体的に実施し、一人ひとりの能力や特性に応じた仕事を勧めています。

社会参画の促進では、シニア世代が地域の支え手としての役割を担えるよう環境整備を行っているほか、新たな技能や知識の習得に挑戦する方々には、リスキリングの機会を提供しています。

このような取組を通して、働く意欲のあるシニア世代が活躍できる「生涯現役社会」の実現を目指します。

質問はこのほか「介護人材の確保について」など6項目



自由民主党
おかのりょうこ
岡野涼子 議員

水災害対策について



問 天瀬地区における玖珠川の改修をはじめ、水災害対策をどのように進めていくのか、土木建築部長に伺います。

答

玖珠川の天瀬地区は、用地取得が進んでおり、今年度から本格的な工事に着手する予定です。地域活性化や賑わい創出のため、「天ヶ瀬温泉街復興まちづくり計画」に基づき、景観に調和した護岸や遊歩道などを整備します。

また、山国川や小野川など浸水被害があった河川においても、地域との合意形成を図ったうえで改良復旧を進め、再度災害の防止に取り組んでいます。

ソフト対策も重要であり、浸水想定区域図の公表や河川水位表示

マーカーの設置、監視カメラの更新などにより、水害リスクの見える化を進め、早めの避難行動につなげ



天瀬橋 量水標(日田市)

ていきます。

今後、ハード・ソフトの両面から総合的な水災害対策を強力に推進し、県土強靱化に全力で取り組みます。

質問はこのほか「再生可能エネルギーの活用について」など7項目



公明党
さわだともひろ
澤田友広 議員

中東情勢に伴う医療・社会福祉施設への支援について



問 中東情勢に対応するため、県民の安心・安全の基盤となる医療・社会福祉施設への支援にどのように取り組むのか、知事に伺います。

答

石油関連製品の供給や価格高騰に対する不安の声は多く寄せられており、先行きの不透明感から、その不安は依然として払拭されていない状況にあります。

そこで、6月3日から4日に関係省庁を訪問し、医療資材等の安定供給に向けて必要な処置を講じるよう求めています。

物価高騰への対応では、価格転嫁が困難な施設等に対し、電気代や食料費等の高騰分の一部を助成するとともに、診療材料費やガソリン代等の支援を行うなど、影響の緩和に努めています。

コスト抑制による経営基盤の強

化も不可欠なため、今定例会に提出した補正予算案に、医療機関等における省エネ設備導入支援経費として約15億円を盛り込みました。

引き続き、国

際情勢や国の動向を注視しながら、医療機関や社会福祉施設への支援に努めます。



質問はこのほか「8050問題について」など7項目

6月19日(金)



県民クラブ
きむら のぼる
木田昇 議員

地方税収の偏在是正について



問 地方税収の偏在是正にどのような取り組みむのか、総務部長の見解を伺います。

答

近年、東京一極集中の進展に伴い、税収の偏在も進み、財政力格差が拡大しています。

東京都では、所得制限を設けない直接的な給付サービス等を実施しており、隣接県からも行政サービスの格差が拡大しているとの声が上がっています。

こうした状況を踏まえ、国では偏在性の小さい税体系の構築に向けて検討がなされており、財政力に乏しい本県にとっても、偏在是正は税収の充実が期待できるため、国に強く要望しています。

令和9年度の税制改正に向けては、特に偏在性の高い地方人課税において、特別法人事業税の譲与割合の拡充など具体的な取組の方針が示されました。

引き続き、偏在是正の取組を加速するよう、全国知事会等を通じて国へ働きかけていきます。

質問はこのほか「県庁の『休み方改革』について」など8項目



自由民主党
しゅうけんじろう
首藤健二郎 議員

サンリオキャラクターの活用について



問 本県の魅力発信や県政の認知拡大に向けて、サンリオキャラクターをどのように活用していくのか、具体的な取組を知事に伺います。

答

昨年度注目を集めた「大分ハローキティ空港」等の効果を持続させるため、4月にはハローキティを「おおいたスペシャルサポーター」に任命し、魅力発信力の向上を図っています。

今後はイベント等を通じて、県内外での話題づくりに取り組むとともに、海外での人気を生かし、プロモーション等への出演など観光誘客や県産品の販路開拓・消費拡大にもつなげます。

加えて、本県オリジナルデザインのロゴマークを2種類作成しました。これらは、全庁にわたる様々な分野でPRグッズや冊子などに幅広く活用し、県の取組へのアプローチと周知拡大を目指します。ハーマニーランドエンタメリゾート化構想についても、更なる地域の魅力向上につながるよう、日出町や杵築市等と取組を進めます。今後も、株式会社サンリオなどと連携しながら、そのブランド力を本県の魅力発信に生かしていきます。

大分県のオリジナルロゴ

メインロゴ



観光用ロゴ



© '26 SANRIO CO., LTD. APPR. NO. L665342

質問はこのほか「県産品の販路拡大について」など7項目



自由民主党
ますだ みつぐ
梶田 貢 議員

宿泊税について



問 導入に伴う事業者の負担をどのように解消し、今後の観光振興に活用していくのか、知事に伺います。

答

人口減少が進む中、交流人口を拡大し県経済を活性化させるには、安定財源の確保が不可欠であり、全市町村の要請も踏まえ、宿泊税導入を決定しました。今後は、特別徴収を担う宿泊事業者への支援と、宿泊税の効果的な活用を進めていくことが重要です。

事業者への支援では、既存レジシステムの改修支援や、事前の周知啓発強化に加え、問い合わせにもきめ細かく対応します。税の効果的な活用では、賦課徴収に要する経費等を除いた額の7割を市町村に交付し、地域資源の魅力向上や受入環境の充実に充て、3割は県において広域的な施策に活用します。加えて、使途は毎年度検証し、公表します。今後とも、関係者と連携し、円滑な導入に向け万全を期します。

質問はこのほか「子ども誰でも通園制度について」など7項目



県民クラブ
わかやま まさとし
若山 雅敏 議員

中山間地域の農業振興について



問 中山間地域の農業振興にどのように取り組んでいくのか、農林水産部長に伺います。

答

2月に定めた「中山間地域基づき、担い手・農地・集落機能の3つを柱に新たな体制で取り組んでいます。

担い手対策では、収益性の高い経営体の育成・確保と合わせ、多様な担い手が営農継続できる環境づくりの推進が重要です。

農地対策では、意欲ある経営体に優良農地の集積・集約化を加速させる取組を行っています。

さらに、集落機能の維持に向け、地域の販売・交流拠点を担う直売所の魅力を高め、地域のにぎわいづくりを支えるとともに、国で見直されている日本型直接支払制度の状況を踏まえ、活用の拡大を働きかけます。

こうした取組を関係機関と共有し、中山間地域農業の活性化を進めていきます。

質問はこのほか「地方創生に向けた市町村との連携について」など6項目

可決・同意・承認された議案等（知事提出）

○予算（1件）

▽令和8年度大分県一般会計補正予算（第1号）

○条例関係（11件）

▽知事等の損害賠償責任の一部免責に関する条例等の一部改正について

▽大分県使用料及び手数料条例の一部改正について

▽大分県宿泊税条例の制定について

○人事関係（1件）

▽副知事の選任について

○その他（3件）

▽美術品の取得について

▽損害賠償請求に関する和解をするについて

▽工事請負契約の締結について

○報告（1件）

▽大分県税条例等の一部改正について

可決された議案（議員提出）

▽皇室の伝統に基づく安定的皇位継承を確保するための法整備の早期実現を求める意見書

▽地方財政の充実・強化を求める意見書

▽ゆたかな学びの実現と教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度充実強化に係る意見書

▽ドナーミルクの利用拡大を求める意見書

常任委員会の活動状況

総務企画委員会



県内所管事務
調査詳細

《委員会の開催状況》6月23日開催

○付託案件

▽議案（8件）

- ・令和8年度大分県一般会計補正予算（第1号）
- ・大分県宿泊税条例の制定について ほか
- ▽報告（1件）
- ・大分県税条例等の一部改正について
- 諸般の報告（4件）
- ・空港アクセス改善事業の取組について
- ・ツール・ド・九州について ほか

《県内所管事務調査》5月11日～5月29日実施

社会人野球チームを設立し、選手達を佐伯市内の企業等へ派遣するなど、移住定住の促進に取り組んでいる「佐伯特定地域づくり事業協同組合」や、東勝吉氏を中心とした由布院盆地に縁のある美術活動者の支援や、作品の記録・蓄蔵・活用などにより創造的な地域文化の継承と育成に寄与している「NPO法人由布院アートストック」など24か所を調査しました。



佐伯特定地域づくり事業協同組合
(佐伯市鶴望)



NPO法人由布院アートストック
(由布市湯布院町)

福祉保健生活 環境委員会



県内所管事務
調査詳細

《委員会の開催状況》6月22日開催

○付託案件

▽議案（4件）

- ・令和8年度大分県一般会計補正予算（第1号）
- ・大分県障害者介護給付費等不服審査会条例の二部改正について ほか
- 諸般の報告（7件）
- ・第12次大分県交通安全計画の策定について
- ・令和7年度大分県病院事業会計決算の概要について ほか

《県内所管事務調査》5月14日～6月3日実施

補助事業を活用した散策道のバリアフリー化やクラウドファンディングを活用したくじゅう連山の登山道整備等を実施している「タデ原湿原」や、里親委託をさらに推進するため、里親制度の普及啓発・リクルートから委託児童の自立までを一貫して切れ目なく支援している「おおいた里親養育支援センター chields」など21か所を調査しました。



タデ原湿原
(玖珠郡九重町)



おおいた里親養育支援センター chields
(大分市三芳)

商工観光労働 企業委員会



県内所管事務
調査詳細

《委員会の開催状況》6月22日開催

○付託案件

▽議案（2件）

- ・大分県宿泊税基金条例の制定について
- ・令和8年度大分県一般会計補正予算（第1号）
- 諸般の報告（2件）
- ・大分県企業局経営戦略アクションプランの実施状況について
- ・令和8年度の観光誘致の状況について

《県内所管事務調査》5月12日～6月3日実施

最新の教育設備環境のもと、高度な専門知識と技能を有する実践技術者を育成し、開校以来高い就職率を維持している「大分県立工科短期大学校」や、稲積水中鍾乳洞において、ダイビングやアウトドアサウナなど自然環境を活かしたサービスを提供し、全国的に話題となっている「カイセイ地所トラスト株式会社」など25か所を調査しました。



大分県立工科短期大学校
(中津市東浜)



カイセイ地所トラスト株式会社
(豊後大野市三重町)

大分県議会では6つの常任委員会を設け、所管する各部局に関する事項の審査や調査などを行っています。
「委員会」は少数の議員で、県の仕事を部門ごとに分担して受け持ち、詳しく調べて本会議に報告する役割があります。

農林水産委員会



県内所管事務
調査詳細

《委員会の開催状況》6月23日開催

○付託案件

▽議案（2件）

- ・ 令和8年度大分県一般会計補正予算(第1号)
- ・ 大分県公害被害救済措置条例の一部改正について

○諸般の報告（4件）

- ・ 大分県農林水産業振興計画におけるチャレンジ指標等の令和7年度実績について
- ・ 鳥獣被害とその対策について

《県内所管事務調査》5月11日～5月29日実施

契約農家の生産から加工までの工程を一括して管理する、バジル栽培管理システム（KUNIMIX CLOUD）を開発し、バジルの生産拡大を進めている「くにみ農産加工有限公司」や、竹田市が実施する未整備クヌギ林整備事業によって生じるクヌギ材を使用し、しいたけの原木供給を行っている「竹田市しいたけ原木供給会」など22か所を調査しました。



くにみ農産加工有限公司
(国東市国見町)



竹田市しいたけ原木供給会
(竹田市久住町)

土木建築委員会



県内所管事務
調査詳細

《委員会の開催状況》6月22日開催

○付託案件

▽議案（3件）

- ・ 令和8年度大分県一般会計補正予算(第1号)
- ・ 損害賠償請求に関する和解をすることについて

○諸般の報告（7件）

- ・ 令和7年度予算の繰越しについて
- ・ 県営住宅の管理代行について
- ・ 「豊ちやく2026」について

《県内所管事務調査》5月11日～5月29日実施

県内各地の土木事務所を訪問し、各事業の概要等について説明を受けるとともに、土砂災害の発生を未然に防ぐため砂防堰堤の工事を進めている「二日市川火山砂防事業」や、令和6年の大雨により被災した三郎丸橋において、令和9年3月の開通に向けて復旧工事を進めている「国道386号（三郎丸橋）災害関連事業」など36か所を調査しました。



二日市川火山砂防事業
(宇佐市院内町)



三郎丸橋災害関連事業
(日田市友田)

文教警察委員会



県内所管事務
調査詳細

《委員会の開催状況》6月23日開催

○付託案件

▽議案（1件）

- ・ 大分県立学校職員及び大分県市町村立学校県費負担教職員定数条例の一部改正について

○諸般の報告（1件）

- ・ 令和7年度予算の繰越しについて

《県内所管事務調査》5月12日～6月22日実施

令和8年4月に開校し、県内特別支援学校初となるホテル実習室を設置するなど、地域産業に根ざした職業教育に取り組んでいる「大分県立別府やまなみ支援学校」や、県内全域において、幹線道路等での交通指導取締り、交通事故発生時の初動措置や交通整理、災害発生時の応援出動などに取り組む「交通機動隊」など23か所を調査しました。



大分県立別府やまなみ支援学校
(別府市野田)



交通機動隊
(大分市松岡)

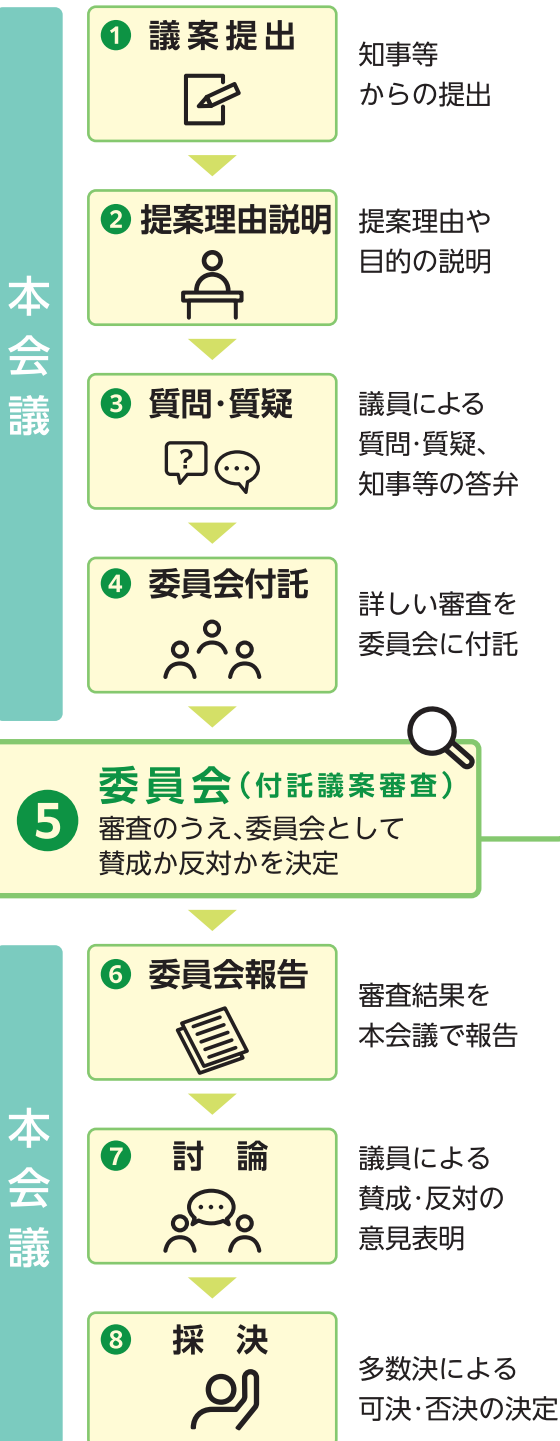
知っていますか？ 議案が決まるまで



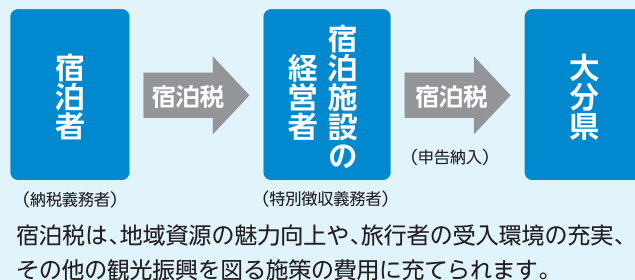
第68号
議案

大分県宿泊税条例の制定について

議案が決まるまでの流れ



☑ 宿泊税の仕組み



委員会での主な質疑（5の実例）

- Q** 民泊やゲストハウスなどフロントがない施設でも、宿泊者を正確に把握できますか？
- A** 旅館業法や住宅宿泊事業法では、宿泊施設に宿泊者名簿の作成を義務付けており、宿泊税条例では罰則規定を設けています。それらを活用しながら、適正に運用されるよう努めていきます。
- Q** 宿泊税をカード決済する場合、発生する手数料は宿泊事業者が負担するため、負担が大きくなるのでは？
- A** 特別徴収義務者報償金として、納期内納付額の2.5%を宿泊施設に支払うこととしており、負担軽減に努めます。



委員会での審査結果

慎重に審査した結果、可決すべきものと決定

本会議での採決の結果、賛成多数で可決

議会の役割

宿泊税の用途は毎年度検証し、公表されます。議会では、用途や施策の効果をしっかりと審査し、県民のみなさまの代表としてのチェック機能を果たします。



県議会では、県民のくらしを支える条例や予算を、話し合いと審査を通じて決定しています。



夏休みこども議会体験会

令和8年8月3日(月)に夏休みこども議会体験会を開催し、県内の小学4～6年生24名と保護者が参加しました。本会議場で県議会の仕組みや役割について学び、議長室や傍聴席などを見学した後、4つのグループに分かれ、「誰もが過ごしやすい街にするにはどうしたらよいか？」など、グループごとのテーマについて議員と話し合いました。最後に各グループの代表者が、本会議場の演壇から話し合った内容と感想を発表しました。参加したこどもたちからは、「意見を伝えたり、聞いたりできて楽しかった」、「議員さんの話がおもしろかった」などの感想が寄せられました。



議長室見学



意見交換



感想発表



議場見学

県議会では、一般のみなさまを対象に議場見学の受入れを行っています。令和8年7月16日(木)には、香港中文大学の学生やホストファミリーなど19名が議場を見学しました。



内 容 本会議場等の見学、
県議会の役割・仕組み
等の説明

時 間 30分程度

受入日 議会開会中を除く平日

問合せ先

議会事務局政策調査課
TEL:097-506-5035
詳細はこちらから▶



議員定数調査会

議員定数調査会は、議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員定数について、協議・調整を行うため、令和7年9月10日に設置されました。

同調査会において、令和7年国勢調査の結果を踏まえ慎重に検討協議を重ねた結果、「現行維持」との結論に至り、調査結果を議長に報告しました。



④ 報告書手交
(6月16日)
左から嶋議長、
三浦会長、
守永副会長



⑤ 報告書は
こちらから



広報委員会

県民のみなさまに議会活動をより身近に感じていただくため、「夏休みこども議会体験会」や「議員出前講座」などの広報活動について話し合いを行っています。



⑥ 令和8年度広報委員会メンバー

政策勉強会

県議会では、定例会ごとに政策勉強会を開催しています。

今回は、株式会社サンリオエンターテイメント代表取締役社長の小巻亜矢氏を講師にお招きし、「ハーモニーランドの今後の事業展開について」と題し、ハーモニーランドの沿革や、エンタメリゾート構想の進捗についてご講演をいただきました。



県議会今後の動き

令和8年第3回定例会の日程(予定)

9月3日(木) 開会
9月9日(水) 本会議(代表質問)
9月10日(木) 本会議(一般質問) 14日(月)
9月15日(火) 本会議(一般質問)
9月16日(水) 本会議(一般質問)
9月24日(木) 閉会
常任委員会

議員出前講座 開催校募集中!

議員が講師として学校等に出向き、県議会の仕組みや議員の活動についてわかりやすく説明します。

開催を希望する学校は、お気軽にお問合せください!



申込方法や過去開催状況はこちら▶



問合せ先/議会事務局政策調査課 (TEL:097-506-5035)



YouTubeでは、県議会タイムの過去の放送分をご覧いただけます。

また、令和8年第2回定例会から、本会議の様子もYouTubeで閲覧できるようになりました。是非ご覧ください!

議会ロビー展示

「僻南のまほろばを歩く旅」のメンバーがフィールドワークを通して出会った、佐伯地方の歴史・文化・自然の魅力を、パネル展示によって紹介しました。(6月11日~6月26日)

県内在住者が作成した作品は議会ロビーに展示できます。

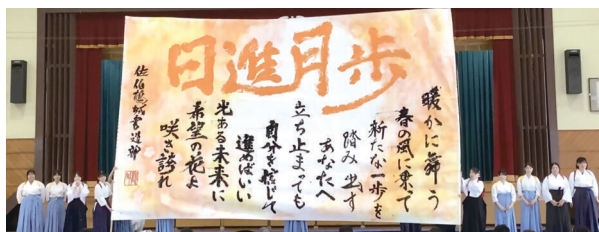


▶ 詳細はこちら

表紙の
題字
作者

佐伯鶴城高等学校 小野 杏珠さんが
所属する書道部の様子をご紹介します

佐伯鶴城高校書道部は、「憧れを力に」というスローガンのもと、日々練習に励んでいます。部員一人ひとりの技術向上はもちろんのこと、学校行事や地域のイベントでの書道パフォーマンスにも積極的に取り組んでいます。今年度は、全国高等学校総合文化祭あきた大会への出場も叶えることができ、常に自分自身と向き合いながら仲間と切磋琢磨する中で、より良い1枚を書けるよう努力を重ねています。(部員数:3年7名・2年7名・1年8名)



☑ 大分県議会ホームページ
大分県議会ホームページにも広報紙を掲載しています。



☑ 大分県議会公式X
大分県議会公式Xでも県議会の活動を発信しています。